

屋久島町では、平成 28 年 2 月に「屋久島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。この総合戦略は、平成 27 年度を始期とする 5 ヶ年の計画であり、平成 27 年 12 月に策定した「屋久島町人口ビジョン」で示した将来展望を実現するための戦略と位置付けています。

平成 29 年度は、この総合戦略に位置付ける事業として 1 つの事業を実施しました。事業を実施するにあたっては、KPI という最終的な数値目標を設定して、達成状況とその効果を適宜検証する PDCA サイクルが求められていますが、本町においては、この検証作業を 2 月 4 日の「屋久島町総合戦略推進会議」の場及び 2 月 8 日の屋久島町議会全員協議会の場において行いましたので、ここに報告します。

交付対象の事業	事業概要	実績額(円)	本事業における重要業績評価指数(KPI)	実績値(KPI に対し)	総合戦略における位置付け	「屋久島町総合戦略推進会議」における効果検証	町議会における意見等
福岡市・九州離島広域連携事業	<p>福岡市とダイレクトアクセスを持つ九州の離島3市2町と福岡市が連携して、インバウンド及び国内旅行者の流入による交流人口の拡大や地方創生の人材、事業の育成やまちづくりを目的とした観光 PR を実施。</p> <p>【①広域観光戦略策定等業務】 3,326,400 円</p> <p>【②国内旅行商品造成等事業】 4,165,200 円</p> <p>【③海外プロモーション推進等業務】 2,998,800 円</p> <p>【④公式ホームページ運営等業務】 1,329,048 円</p> <p>【事務局費】 113,152 円</p> <p>計 <u>11,932,600 円(本町分)</u></p>	<p>11,932,600 (国費 5,964,000)</p>	<p>※基準年を平成 28 年</p> <p>①離島航空路・航路利用者数(福岡発:屋久島行き便の利用者数) H28 年度 11,347 人 ↓ H29 年度 <b>11,605 人</b></p> <p>②外国人延べ宿泊者数 1~12 月 H28 年度 8,700 人 ↓ H29 年度 <b>12,000 人</b></p> <p>③本事業で造成する旅行商品の利用者数 H28 年度 0 人(当時商品無し) ↓ H29 年度 <b>400 人</b> (5 島全体で)</p>	<p>①離島航空路・航路利用者数(福岡発:屋久島行き便の利用者数) H29 年度 <b>13,971 人</b> (120%達成)</p> <p>②外国人延べ宿泊者数 1~12 月 H29 年度 <b>13,390 人</b> (112%達成)</p> <p>③本事業で造成する旅行商品の利用者数 H29 年度 <b>470 人</b> (118%達成) うち屋久島町 79 人</p>	<p>基本目標Ⅱ 屋久島を起点とした教育・交流・移住サイクルの確立 ~地方への新しいひとの流れをつくる~ 地方創生総合戦略P15</p>	<p>【インバウンド対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンドの受入にあたって、言語対応が最も課題であるとの結果が出ているが、一般住民ではなかなか、実際に外国人に話しかける勇気が出ない。世界遺産会議の時も、通訳を町内で募集したこともあったが、鹿児島県では通訳の登録制度も取っているのので、屋久島町でもそういう制度が出来ればと思う。</li> <li>・スマホ等の機器で、片言でも対応できる部分はあるが、台湾や韓国の方はパッと見て日本人と区別がつかないので、ハングルや中国語は看板表記して、駆け込み寺のようにすると良いのでは。食事場所や、買い物、その時間にどこが空いているのか等の問い合わせが多い。</li> <li>・Wifi や洋式トイレ等の課題がある。</li> <li>・安房と宮之浦の港間の距離感が分からない方が多い。時刻表の表示の仕方を検討する必要がある。</li> </ul> <p>【交通(航空)の利便性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島から静岡に LCC (格安航空会社) で行く方が、静岡から福岡に通常便で行くより安かった。そうなると、福岡空港は利用しにくく、福岡空港~屋久島空港という流れも生まれにくいと思う。町内での魅力づくりも大事だが、航空会社に働きかけて、料金やダイヤ改正等の航空会社の協力が不可欠であると思う。</li> <li>・飛行機が ATR に変わって、座席数が減ったため、便数を増やしていただく等も必要。</li> </ul>	<p>【インバウンド対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人旅行者を受け入れる体制として、宿やガイドの意識を高めていく事が鍵になる。同じアジア人でも文化が違うので、受け入れる際にびっくりしないように、以前こういうトラブルがあったというような情報も、みんなで共有していく事が大事であると思う。このプロジェクトが終わったとしても、継続して取り組んでほしい。</li> </ul>

交付対象の事業	事業概要	実績額(円)	本事業における重要業績評価指数(KPI)	実績値(KPI に対し)	総合戦略における位置付け	「屋久島町総合戦略推進会議」における効果検証	町議会における意見等
福岡市・九州離島広域連携事業	<p>福岡市とダイレクトアクセスを持つ九州の離島3市2町と福岡市が連携して、インバウンド及び国内旅行者の流入による交流人口の拡大や地方創生の人材、事業の育成やまちづくりを目的とした観光PRを実施。</p> <p>【①広域観光戦略策定等業務】 3,326,400円</p> <p>【②国内旅行商品造成等事業】 4,165,200円</p> <p>【③海外プロモーション推進等業務】 2,998,800円</p> <p>【④公式ホームページ運営等業務】 1,329,048円</p> <p>【事務局費】 113,152円</p> <p>計 <u>11,932,600円</u></p>	<p>11,932,600 (国費 5,964,000)</p>	<p>※基準年を平成28年</p> <p>①離島航空路・航路利用者数(福岡発:屋久島行き便の利用者数) H28年度 11,347人 ↓ H29年度 11,605人</p> <p>②外国人延べ宿泊者数 1~12月 H28年度 8,700人 ↓ H29年度 12,000人</p> <p>③本事業で造成する旅行商品の利用者数 H28年度 0人(当時商品無し) ↓ H29年度 400人</p>	<p>①離島航空路・航路利用者数(福岡発:屋久島行き便の利用者数) H29年度 <u>13,971人</u> (120%達成)</p> <p>②外国人延べ宿泊者数 1~12月 H29年度 <u>1,390人</u> (112%達成)</p> <p>③本事業で造成する旅行商品の利用者数 H29年度 470人 (118%達成)</p>	<p>基本目標Ⅱ 屋久島を起点とした教育・交流・移住サイクルの確立 ~地方への新しいひとの流れをつくる~</p> <p>地方創生総合戦略P15</p>	<p>【町の魅力づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に魅力を感じるというよりも、里にもまだまだいっぱい見るところがありますよと、続けて発信していかないとなかなか難しい。情報の発信がいまひとつ足りていない。</li> <li>・屋久島⇄福岡の認知度がいまだに低い。</li> <li>・屋久島は健康、健脚じゃないと来れないイメージがついているため、その辺のイメージを変えていって、間口を広げ、万人受けする屋久島にしたい。</li> <li>・商工観光課だけでやるのではなく、農林水産課の一次産業や、屋久島町特有の環境保全の様子を環境政策課と結び付けて表に出していく等の取組みが必要。</li> </ul> <p>【ターゲット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業の「高所得の方(富裕層)を狙う」という戦略は、間違っていると思う。海外の本当の富裕層は、日本には来ていないと思う。</li> <li>・本当の富裕層を受け入れられる設備や体制は、どの島も整っていない。</li> </ul> <p>【食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行にいったら食べるのが一つの楽しみ。屋久島でしか食べられないメニューを作ってほしい。</li> </ul> <p>【全体として】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての事業がよーいどんの、ヘッドスタートになっているので、出た意見を踏まえて優先順位をつけ、どれかに成果が上がるような絞込み、練り込みをやっていく作業が必要。</li> <li>・4S(シナリオ、スタッフ、ステージ、スポンサー)を揃え、形に見えるような成功事例が一つ出てくると、動いていくと思う。</li> </ul>	